

## 平成29年度 岐阜県立多治見北高等学校

### 「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」実施結果と分析

#### 1 「生徒及び保護者等を対象とするアンケート」実施概要

- (1) 生徒アンケート（全員対象） 平成29年7月中に実施
- (2) 保護者アンケート（全員対象） 平成29年7月中に実施
- (3) 学校評議員アンケート（5名全員対象） 平成30年1月～2月に実施予定
- (4) 回答数：生徒710名、保護者567名、（学校評議員5名予定）

#### 2 アンケートへの対応

- (1) 多治見北高等学校ホームページに掲載する
- (2) 教職員で検討し、学校運営に役立てる
- (3) 学校評議員会で提示する
- (4) 「自己評価」及び「学校関係者評価」の資料として活用する

#### 3 結果の分析・評価

アンケートの有効な回答は、生徒は約99%（昨年度98%）、保護者は約79%（昨年度71%）であった。アンケート項目は昨年度と同一なので、すべての項目で比較分析ができる。

全項目に対する肯定的な意見の割合は、平均すると生徒83%（昨年79%、一昨年79%）、保護者等79%（昨年78%、一昨年80%）となり、これまでと同様に肯定的な回答が多く、概ね本校の教育活動に理解が得られていると判断できる。しかし学年別に見ると、現3年生は生徒・保護者ともに、昨年（2年次時点）、一昨年（1年次時点）の調査と同様、他年度（学年）より明らかに肯定的な評価の割合が低い。

##### (1) 生徒アンケートより

- ・ 生徒アンケートでは、肯定的な回答（AorB）が平均83%で昨年より4%増加した。肯定的な回答が80%を越える項目は昨年より11項目も増え、41項目中32項目になった。
- ・ 以下の項目では、肯定的な回答が昨年度より8%以上増加したが、肯定的な回答が昨年度より5%以上減少した項目はひとつもない。（昨年度は3項目あり。）

項目 11「本校の先生は、悩みや相談事に親切に対応してくれる。」+8

項目 16「総合的な学習の時間は有意義である。」+8

項目 17「本校では生徒のことをよく理解していて一人一人に合った生徒指導をしている。」+10

項目 24「本校では地震や台風などの場合の対応について対策マニュアルを示し説明している」+16

項目 26「本校ではロングホームルームの時間は今後の自分にとって意義のある内容になっている。」+12

項目 29「本校では、生徒会活動が活発である。」+8

項目 36「毎日の家庭学習時間は最低でも 3 時間は確保されている。」+8

項目 37「本校での学習活動で十分実力が身につく、学習塾等の必要性を感じなくなっている。」+10

項目 39「本校生徒は、はきはきした挨拶をし、交通マナーを遵守して登下校している。」+8

項目 41「学校は、授業公開や体験入学、学校訪問を積極的に受け入れ「開かれた学校」づくりに努めている。」+9

#### <考察>

項目 16、26 の増加は、探究推進部を中心として進められているスーパーグローバルハイスクール事業による様々な取り組みが評価されたのではないかとと思われる。項目 24 は、昨年度前半、気象警報が一度も発表されず対応マニュアルを配付しなかったため、大きく肯定的意見が減少した反動であると考えられる。項目 11、17、39 は、生徒・保護者に軸足を置いた教育相談的生徒指導の成果が出ている証であろう。項目 41 については小学生のオープンキャンパスを実施するなど、開かれた学校づくりの取り組みが評価されているものと思われる。また、項目 37 は昨年度まで 2 年連続で 7% の大幅減少であったが、今年度は多少揺り戻した。しかし、肯定的評価が全項目の中で一番低く（AB で 53%）、学習塾に頼る生徒が全学年を通じて多い実態と一致している。「自主、自律、自学」を校訓とする本校としては、家庭での学習にじっくり取り組める生徒の育成に力を入れる必要がある。

#### (2) 保護者を対象とするアンケートより

- ・ 保護者アンケートでは、肯定的な回答（A or B）が平均 79% で、昨年より 1% 上昇し、比較的高い評価をいただいている。

- ・ 以下の項目では、肯定的な回答が昨年度より 5% 以上上昇した。

項目 8「学校は、保護者（地域）が授業や学校行事等を参観する機会等をよく設けている。」+6

項目 29「地震や台風などの場合の対応について、生徒や保護者（地域）に対策マニュアルが知らされている。」+9

項目 38「毎日の家庭学習時間は最低でも 3 時間は確保されている。」+8

- ・ 次の項目では肯定的意見が 5% 以上減少している。

項目 39「学校での学習活動で十分実力が身につく、学習塾等の必要性を感じなくなっている。」-6

#### <考察>

項目 29 については生徒の回答結果と矛盾がない。また項目 39 についても生徒の回答と一致しているが、保護者の方がよりいっそう厳しい評価（AB 併せて 38%）になっている。本校教育の根幹に関わることであり喫緊の検討課題である。今後も継続して実態把握に努めるとともに、学校の取り組みや教育方針が生徒・保護者に伝わるように、情報提供や広報・啓蒙活動に努めることが大切である。